

図書館運営の市民参加（企画するボランティア）

自治体情報

人口 40,592人

標準財政規模 9,856,064千円

担当課 静岡県 熱海市 図書館

電話 0557-86-6591

ホームページ <http://www.city.atami.shizuoka.jp>

事業期間 平成19年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取り組みに至る背景

市立図書館は、東京電力熱海営業センター建物内に移転が決まり、平成19年8月1日の開館に向け、「地域に開かれた利用者の視点からの図書館づくり」を基本構想として、開館後の市民ボランティア導入を視野に入れ準備を進めた。

しかし、新図書館のフロアが3階～5階に分かれるため、現職員数では3箇所のカウンター業務を円滑に遂行していくことは大変難しく、財政的にも増員は見込めないことから、市民へのサービス低下が懸念された。

2 事業内容（目的・目標・方策）

カウンター業務の円滑化を目的として、運営業務の一翼に携わる市民ボランティアを開館当初からお願いすることにした。

市民ボランティアが主として参画するカウンターサービス業務については、静岡県下では初めての導入となったが、図書館システムの扱いと利用者への対応等は欠かせない業務であるため、日々発生する様々なケースに、担当職員と連携を図り行っている。

また、多種多様な分野からの応募があったので、図書館の新しい企画が実現できた。

主に取り組まれている業務は次のとおり。（(5)～(9)は、市民ボランティアの企画及び運営）

- (1) カウンターサービス業務
- (2) 移動図書館サービス業務
- (3) 寄贈図書の登録及び装備・図書の配架・書架の整理・蔵書点検業務への協力
- (4) 図書館フェアへの参加協力
- (5) おはなし会・短歌会・製本教室・絵画教室の開催
- (6) 来館者への抹茶サービス・館内美化（生け花）活動業務
- (7) 病院・施設等への出張朗読会
- (8) ボランティア特集コーナーの設置
- (9) 選書グループの活動



3 施策の開始前に想定した事業効果

市民ボランティアの参画により、親しみやすい環境の創出への効果、市民意見への柔軟な対応を図られること等により、現状職員数においても市民へのサービスを低下させずに、充実した図書館運営ができると想定した。

また、本図書館の移転前の利用率は県下他市に比べ余り高いものではなかったため、利用率向上のためにも市民ボランティアの参画に期待を寄せた。

4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

市民ボランティアの中でもカウンター業務は、個人参加の継続的な業務となるため、無理のない範囲において自己申告によるシフト制でお願いしている。

しかし、強制や制約はできないため、ボランティア同士の相互協力に委ねている。

また、開館当初は、業務遂行上において市民ボランティアと職員との連携がなかなか円滑に進まなかったため、意思の疎通を図ることから始めた。まず定期的に意見交換会等を開催し、各々の市民ボランティアの質問や要望に対し、ひとつひとつ理解が得られるよう説明し、話し合いを続けてきた。

なお、図書館サイドからは、利用者の個人情報取り扱いについて、守秘義務を徹底するようボランティアへの研修を通して強く要請をし、研修後、「守秘に関する誓約書」の提出を求めている。

5 現在の成果・実績、今後の展開など

市民ボランティアの参画により、カウンター業務も円滑に進んでおり、各種教室及びイベント等の開催も活性化してきた。

また、貸し出し冊数、貸し出し人数ともに大幅に上昇してきた。

今後も市民ボランティアと共に「地域に開かれた利用者の視点からの図書館づくり」をなお一層推進していきたい。



予算関連データ 熱海市

平成 20 年度額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
1,800千円		0千円	0千円	0千円	0千円	1,800千円
①～④の名称・所管等	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					